

国や横浜市の方針	
日本国憲法	
教育基本法	
学校教育法	
学校教育施行規則	
学習指導要領	
横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領	
横浜教育ビジョン30	

教育目標		
原中学校は、「ゆたかな心」を育み、社会との関わりを大切にします。		
自他の違いを認め、互いに尊重し、共に高め合う場を大切にします。		徳・体
将来を見据えて、学習への興味と関心を広げる体験的活動の充実を図ります。		知・公
学習の過程を重視しつつ、学習の基礎・基本を定着させ、確かな学力の充実を図ります。		知
伝統や文化を尊重し、社会のために役立つことを進んで行動できる場を大切にします。		公・開
様々な人々とのふれあいを通じて、社会への関心を高めます。		開・知
公共心を大切にし、法やルールを守る規範意識や礼儀を大切にします。		公・徳
自分の行動に責任をもつ姿勢を大切にします。		

学校評価	
教職員の願い	
生徒の願い	
保護者の願い	
地域の願い	
学校評価項目・評価指標	
自己評価	
学校関係者評価	
学校関係者評価委員会	
PTA役員・実行委員会	
関係会・保護者面談	
保護者アンケート	
生徒アンケート	
授業参観アンケート	

関連校の教育目標	
原小学校	心豊かに学ぶ子の育成
三ツ橋小学校	豊かな人間性と広い視野を持つ国際性を培い、自ら学び続け、共に生きようとする児童の育成を図る。

学年別(成長過程)目標					
	知(生きてはたらき)	徳(豊かな心)	体(豊かな体)	公(公共心と社会参画)	開(未来を開く心)
3年	物事を深く考え、学びを人生や社会となげ、知恵をはたらき生かせる力を育みます。	人のぬれ合いや様々な「本物」に触れる体験を通して、豊かな感性を育みます。	「する、みる、支える、知る」と多様な関わり方で運動に頼む態度を育みます。	自分らしい夢や目標を持ち、自ら考え行動し続ける態度を育みます。	進取の精神を持ち、新たな価値を創造しようとする態度を育みます。
2年	様々な課題に対して、筋道を立て主体的に考え意欲的に学び続ける力を育みます。	自立した人間として、相手の立場や気持ちを思いやり行動できる楽しさを育みます。	体を動かす楽しさや体力づくりに取り組み心身ともにたくましく生きる力を育みます。	自立した人間として、相手の立場や気持ちを思いやり行動できる楽しさを育みます。	伝統文化を理解し誇りを持って、持続可能な社会の実現に向けて行動する力を養います。
1年	身に付けた知識や技能を使って、発見した問題をよりよく解決する力を育みます。	自己理解を深め自分を大切にすることを育むとともにしなやかに生きる力を育みます。	楽しく運動する習慣を身に付け、健康を保持増進しようとする態度を育みます。	自己理解を深め自分を大切にすることを育むとともにしなやかに生きる力を育みます。	自他の違いを受け止めたうえで他者を理解し共に生きていく力を育みます。

小中一貫教育
「9年間かけて育てる子ども像」を念頭に置き、学習指導と生活指導の両面で小中間の接続を強化し、児童生徒の豊かな成長を支援します。
小中相互の授業研究会・協議会のほか、情報交換会、合奏交流、部活動交流、地域行事への相互参加などを行います。

「横浜の子どもの姿」を育んでいくための目標
「横浜の子どもの姿」の具現化への重点的課題

的シ人
ン権
ン教育
ン全
ン体
ン体
ン構造
ン食
ン造
ン図
ン全
ン体
ン徳
ン徳
ン教育
ン全
ン体
ン構造
ン図
ン全
ン体
ン健康
ンプ
ン豊
ン心
ン育
ン別
ン全
ン体
ン構造
ン図
ン画
ン学
ン力
ン図
ン上
ン総
ンア
ンク

取組目標	具体的取組
豊かな学力 わかる授業の実践、家庭学習の習慣化を通して、知識・技能の定着を図り、それらを活用して課題解決に必要な思考力・判断力・表現力を育成する。	①授業の始めに、単元等の「目標は明確に」することで、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。②授業の中で、できるだけ「説明は短く」、生徒の主体的な学習活動を充実させ、思考力・判断力・表現力育成に繋げる。③家庭学習の定着・自主学習の習慣化を図るため、自主学習ノートやネット配信教材を効果的に活用する。
豊かな心 特別な教科「道徳」の授業や学校・地域での様々な活動を通して、規範意識や礼儀を大切にすることを育み、相手思いや心、コミュニケーション能力を育成する。	①学校や地域での様々な場面を通して、気持ちの良い挨拶ができ、凡事をおろそかにせず、礼儀を大切にすることを育む。②特別な教科「道徳」の授業、人権教育の充実を図り、互いの良さや違いを認め合い、相手を思いやる心を育てる。③①、②をふまえ、生徒自らが課題意識を持ち、考えて行動する取組を進める。
豊かな体 「けがの予防」、「スポーツと栄養」など健康と運動の関わりについて重点を置き、関係機関とも連携しながら、安全教育・食教育の充実を図る。	①健康診断、体力テストの結果から、自分の健康状態を把握し、主体的に健康管理できるような指導の工夫改善に努める。②学校医、医師等と連携し、食育講演会を各学年ごとにテーマを決めて実施し、食教育の充実を図る。③生徒保健委員会を中心に、ケガの予防、発進段階に応じた栄養の摂り方について学習を深め、全校生徒に普及する。
教育課程・学習指導 生徒の自ら考え判断し行動する力を伸ばせるような特色ある教育課程を編成する。単元や内容のまとまりごとの評価を確立し、「評価から授業改善」に取り組む。	①各教科の授業時数を確保しながら、生徒会活動や教育相談、部活動の時間を確保できるように。短冊、長期スパンでカリキュラム・マネジメントに取り組む。②単元や内容のまとまりごとに学習状況を把握し、適切な学習指導の研究に積極的に取り組む。③課題解決型学習の研究を進め、生徒の思考力・判断力・表現力を育てる単元づくりに取り組む。
生徒指導 組織的な生徒指導と相談活動を充実させ、生徒の内面に迫る指導の質を向上させる。「いじめ防止基本方針」に沿って、早期対応・未然防止の取組を徹底する。	①生徒指導に関する迅速な情報の共有化、組織的な指導、小中一貫した取組をさらに推進させる。②学校生活の様々な場面で基本的な生活習慣の定着と規範意識の向上を図る。③生徒の抱える悩みや心的ストレスを感じとり、問題解決に向けて適切な支援ができるよう、教育相談の質を高める。⇒いじめの早期発見・未然防止に向けた職員研修の充実。
地域連携 授業公開、学校HP等を通じ、学校の状況を目に見る形で公開する。地域と協働して、生徒のボランティア活動を推進し、地域連携を強化する。	①授業公開、学校HP、学年通信や学級通信を通して、学校の様子や教育活動の方針等をタイムリーで質の高い内容の発信を目指す。②学校HPの「原中の日々」のページを充実させ、タイムリーで質の高い内容の発信を随時更新する。③学芸員との連携を活用して、生徒の地域ボランティアへの参加体制を強化し、地域とのつながり図る。
特別支援教育 特別な配慮を要する生徒への、学習保障・情報保障を基盤とした支援を充実させる。自覚理解を深め、様々な教育活動の場面で活用できるようにする。	①個々の状況に応じて、学校生活に必要な情報を確実に伝える方法、授業のユニバーサルデザイン化を研究する。②それぞれのニーズに応じた学習支援の充実を図る。⇒ネット配信教材の効果的な活用③「障害者差別解消法」に基づき、「合理的な配慮」等の支援体制の整備、適切な特性理解と合意形成について、教職員の理解を深めている。
いじめに関する項目 生徒の抱える不安や悩み、心的ストレスを共感できる生徒理解の充実を図る。また、保護者からの相談について迅速に情報共有し、組織的な対応に取り組む。	①いじめの早期対応にあたり、組織的な生徒指導・相談活動を通して、生徒の内面に迫る指導の質を向上させる。②授業、学校行事、部活動、地域ボランティア等の場面で活用して、自尊感情、相手意識を育て、適切な人間関係を確立する。③家庭・地域や関係機関との連携を強化し、信頼関係を基盤とした指導を組織的に行う。

中期学校経営方針
年度重点取組課題
学校評価指標に基づく評価

教科等の指導の重点									
国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	道徳
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通じて、国語で正しく理解し適切に表現する資質・能力を育成することを旨とする。	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバルに主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを旨とする。	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもつて観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを旨とする。	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを旨とする。	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを旨とする。	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体と一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現することを旨とする。	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて生活工夫し創造する資質・能力の育成を旨とする。	英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、英語による言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えたりする資質・能力を育成することを旨とする。	道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基礎となる道徳性を養うため、道徳的価値観についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることを旨とする。
総合的な学習の時間 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを旨とする。									
特別活動 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発見しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成することを旨とする。									